

人文書・歴史書 ご担当者 様

有志舎の新刊です。2017年12月下旬刊行

# アンシャン・レジーム期フランスの権力秩序

—蜂起をめぐる地域社会と王権—

仲松優子 著 (なかまつ ゆうこ、1974年生まれ、北海学園大学人文学部准教授)

A5判・ハードカバー・280ページ 本体価格 6,000円

ISBN978-4-908672-17-0

## アンシャン・レジーム＝「絶対王政の時代」ではなかった！

南フランス・ラングドック地方の地域権力と民衆蜂起のあり方から、アンシャン・レジームそのものを問い直し、フランス革命との関係性をも再考。さらに、イギリス・スペインなどヨーロッパの複合君主政のなかにフランスをいかに位置づけるのかを考える。

(目次)

序章	アンシャン・レジーム再考
第一章	アンシャン・レジーム期の地方統治
第二章	国王裁判所の創設をめぐる地域政治
第三章	国王裁判所司法官と地域社会
第四章	蜂起と地域秩序
第五章	秩序の再建と秩序観の相克
第六章	地方統治と地域住民
終章	アンシャン・レジームの持続性と変容

～版元から～ アンシャン・レジーム期のフランスは、典型的な絶対王政国家と長らくとらえられてきました。しかし、それは本当なのでしょうか？ 本書は、18世紀フランスにおいて、王権と地域権力が頻発する反乱・蜂起にどう対応したのかという点に焦点をあてますが、ここからは、フランス王権なるものはおよそ絶対的なものではなく、様々な地域・宗教権力や民衆と協力・交渉がなされるなかで、はじめて存立していた事が明らかにされます。そうすると、「圧倒的な権力を持っていた絶対王政を倒し、近代の扉を開いたのがフランス革命である」という常識自体が揺らぎ始め、「近代」という時代の意味にも根本から疑問符が付いてしまうのです。新たなアンシャン・レジーム像を描き出す本書は、これまでの歴史常識をガラガラと打ち壊してしまうでしょう。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南4-19-2 クラブハウスビル1階 (有)有志舎 電話:03-5929-7350

番線印	ご注文	発行：有志舎	分野
	冊	<b>アンシャン・レジーム期フランスの権力秩序</b> —蜂起をめぐる地域社会と王権— 仲松優子 著	フランス史（近世・近代）
	ご担当	A5判・ハードカバー、280ページ 本体価格 6,000円	弊社はいつでも返品を受け付けていますが、逆送のご心配がある場合は、「永滝 了解」として返品下さい。
	様	<b>新刊</b> ISBN978-4-908672-17-0 C3022	

ご注文は (株)JRC (人文・社会科学書流通センター) へ

返品条件付注文です。

FAX : 03-3294-2177

電話 : 03-5283-2230